



NPO法人
目黒体育協会

ダッシュ

NPO法人目黒体育協会会報

編集発行／NPO法人目黒体育協会広報部

発行日／令和5年1月31日



『みんなでつくろう体育協会 生きがいと健康の輪』

NPO 法人目黒体育協会 スローガン



『令和五年に向けての新年のご挨拶』

NPO法人目黒体育協会

会長 會田 陽久

新年おめでとうございます。

旧年中もコロナウィルスは変異を続け、繰り返し感染の波が押し寄せて来ました。現在も感染は形を変えて続いています。局面は変わり、今までとは異なった対応を選択しつつあります。区民大会もコロナ以前の状態に戻ったとは言えませんが、各加盟団体の皆様のご協力の下、注意をしながらも開催できるようになりました。今年はコロナウィルスの存在を認めながら、粛々と活動を進めていくこととなるかも知れません。一層の皆様のご尽力をお願い致します。

スポーツの世界では、東京オリンピックを困難な状況下で敢行できましたが、一年の延期が各競技の世界大会の運営に大きな影響を及ぼしたことは否めません。今年は、早くも来年に迫ったオリンピックパリ大会を控え、準備の年ともいえます。その2024年のパリ大会は、1924年に開催されたパリ大会の、ちょうど百年目という記念すべき大会でもあります。この百年での近代スポーツの展開を考える機会となれと思います。

目黒体育協会も皆様と一丸となって、更なるスポーツの振興と普及に向けて精進してまいります。最後に皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。



『年頭のあいさつ』

目黒区長 青木 英二

新しい年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

目黒体育協会の皆様には、日頃から、目黒区体育祭の運営をはじめとするスポーツ事業を通じて、区のスポーツ振興に多大なる貢献をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、本区は、昨年10月1日に区政90周年の節目を迎えました。100周年に向け、区では現在、「さくら咲き 心地よいまち ずっとめぐる」というまちの将来像を実現するべく、様々な取組を進めています。スポーツの分野では、昨年策定した目黒区基本計画において、スポーツに親しむ環境づくりを行い、10年後には、多くの区民がスポーツに取り組み、区民の心身の健康が増進される区の姿を描いています。その実現に向け、引き続き協会の皆様と手を携えながら、区民の誰もが、気軽にスポーツを楽しめる環境の整備に、より一層取り組んでまいりたいと思います。

結びに、本年が皆様にとりまして希望に満ちた輝かしい年となりますことを、ご祈念申し上げます。



『生涯を通して健やかな体の育成を!』

目黒区教育委員会

教育長 関根 義孝



明けましておめでとうございます。

NPO法人目黒体育協会の皆様には、日頃より、スポーツを通じた目黒区の子どものための健全育成にご尽力をいただき、深く感謝を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、令和二、三年度は、各校での分散開催としていた目黒区立中学校連合体育大会を、令和四年度においては、駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場で三年ぶりに開催することができました。本大会は、各校の代表選手だけでなく、選手を応援する生徒たちも一堂に会することに大きな意義があります。選手が懸命に競技する姿だけでなく、応援席にいる生徒も一体となって大会を創り上げている様子が見られ、私にとっても、改めて生徒たちの生きる力を実感する時間となりました。

体を動かすことは、体力の保持増進だけでなく、仲間との関わりを深め、思いやりの心をはぐくむことにより、心の健康にもつながるものと考えています。今後も子どもたちのために、様々な場面でお力添えをお願いいたします。

結びに、NPO法人目黒体育協会の皆様方の益々のご健勝とご多幸をお祈りして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

『一層の創意工夫により 様々なスポーツ事業の実施を』

目黒区文化・スポーツ部長

勝島 壮介



明けましておめでとうございます。

目黒体育協会の皆様におかれましては、日頃より目黒区のスポーツ振興に多大なるご協力をいただき、ありがとうございます。

昨年は、コロナ禍の中、様々なスポーツイベントの実施を模索し、皆様からのご支援と応援を頂戴しながら開催してまいりました。新型コロナウイルス等の感染予防策を講じ、各大会の開催や体育施設の管理運営などスポーツを楽しむ機会を提供していただいたことにつきまして、この場をお借りし深く感謝申し上げます。

本区といたしましては、コロナ禍においても体を動かすことの素晴らしさを感じていただけるような機会を積極的に設けるべく、一層の創意工夫をしながら様々なスポーツ事業の実施に努め、区民の皆様の健康と体力づくりに寄与してまいりたいです。

今後とも、スポーツを通じ人々が集い活力あふれるまちを目指し、様々な取組みを進めてまいりますので、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。



『皆さまの笑顔のために』

目黒区立中央体育館

館長 金山 和也



新年おめでとうございます!
皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年はコロナウイルス感染症対策を講じながら通常に近い運営を行うことができました。今後も感染者数の増大が懸念されますが、気持ちを引き締めながら皆さまの「健康維持」「健康増進」のため、そして安心して利用でき、かつ利用しやすい施設を目指します。

また、皆さまの「笑顔!!」のためにお役にたてるよう、スタッフ一同力を合わせて事業展開に取り組んで参ります。

本年が皆様にとって健康で幸多き年となりますよう祈念申し上げます。

★現在、東京2020オリンピック・パラリンピックで使用された物品を、レガシーとして展示しております。ご来館の際には、ぜひお立ち寄りください。

『区民センター体育館からの挨拶』

目黒区立区民センター体育館

館長 伊藤 敏樹



明けましておめでとうございます。日頃より、区民センター体育館をご利用いただき、誠にありがとうございます。本年もよろしく願いいたします。

令和四年は前年に続き、新型コロナウイルス感染症対策を進めてまいりました。安心・安全を最優先にさせていただいたため、利用者の皆様には多大なご不便をおかけいたしました。令和五年も感染症対策を継続いたしますが、皆様が快適にご利用できま

すよう努力してまいります。また、コロナ禍で中断している様々なイベント・企画を少しでも再開させるとともに、新しいプログラムもどんどん取り入れて開催いたします。

皆様のご来館をお待ちしております。



『スポーツを止めない』

目黒区立駒場体育館

館長 幕田 賢伸



新年おめでとうございます。

日頃よりスポーツ推進並びに、体育館事業にご協力いただき、誠にありがとうございます。

昨年、新型コロナウイルスの終焉は見られず、対策を継続しながらの一年でしたが、スポーツの世界では、各種目で日本チームや日本人の活躍がニュースとなり話題に事欠きませんでした。今年もワールドカップや世界選手権など『観る』スポーツが楽しみです。体育館としては、『観る』スポーツを楽しみながら、皆様と『する』スポーツを充実させる年にしてまいりたいと思います。そして本年の干支、兔のように「跳ねる」年にしてまいりましょう。今後、ご指導、ご協力をお願いいたしますとともに、体育協会の皆様のご健勝と益々のご発展をお祈り申し上げます。



『スポーツ実施率の向上を』

目黒区立碑文谷体育館

館長 小林 一政



新年おめでとうございます。

終息の見えないコロナ禍の中にもかかわらず、皆

様方におかれましては、熱心にスポーツ事業にご尽力いただき、たいへん感謝しております。その甲斐あって、昨年は5月5日に館まつりや、スポーツまつりも開催する事ができ、体育館も少しずつ活気づいてまいりました。

今後、ウイズコロナ体制ではありますが、体育館機能をフル活用し、スポーツ活動がより盛んに展開されますように努力してまいります。

新年度からの私共の目標として『目黒区のスポーツ実施率の向上』が有ります。スポーツに参加できない状況にある方にも参加できるようにプログラムを提供を図っていきます。そのために、ご相談やご協力をお願いする事もあると思います。その折には、どうぞ宜しくお願いいたします。



『新たなスタート』

目黒区立八雲体育館

館長 澁谷 宜紀



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

目黒体育協会の皆様には、日頃よりスポーツ推進活動、体育館公開種目、教室でのご指導にご尽力いただき感謝いたします。

当館は昨年7月まで新型コロナウイルス感染症のワクチン接種会場として使用しており、体育室はもとより、トレーニング室も変則的な稼働をする等、各施設の指導員の皆様にはご面倒をおかけしたことを思います。この場を借りて感謝申し上げます。

また当館では8月に体育室の床の改修工事を行い、9月より通常運営に戻りました。しかしながら、同

感染症の終息は見えておらず、当面の間は現状を維持しつつ、規制緩和に向けて運営方法を模索していく形になるものと思っております。関係者の皆様には、引き続き体育館の運営にご協力をいただくこととなりますが、今後とも宜しくお願いいたします。



『利用者ニーズへの反映』

目黒区立砧野球場・サッカー場

場長 村山 嘉一



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて、砧野球場・砧サッカー場では目黒区利用者アンケートの他に独自アンケート、利用者懇談会、来場者との直接の対話などを行い様々なご要望、ご意見を頂いております。

一例として、小学生団体にも大人用野球場を使用させて欲しいとの意見が多数寄せられていました。現在、当施設は野球場が6面ありますが少年用野球場3面、大人用野球場3面となっていて、大人用野球場は小学生団体が予約システム上予約不可となっていました。

利用者の要望を反映するために区に働きかけて、予約システムを変更して小学生団体が大人用野球場も予約できるようになりました。また、それに伴い大人用野球場にも少年野球規格のライン、ベースのポインントを設置しました。今後よりご利用しやすい施設としていくために、皆様からのご意見、ご要望を、できる限り反映させて参りたいと思います。

最後になりますが、皆様のご健康を心よりお祈りいたします。

おめでとうございます

目黒区区政功労者表彰 受賞

★ 岩田 晋介（目黒区剣道連盟） 

★ 沖山 幸夫（目黒区卓球連盟） 



生涯スポーツ功労者表彰 受賞

（旧文部科学大臣表彰）

目黒区剣道連盟 名誉顧問

松坂 孝司

第61回 目黒区体育祭開会式 開催

ましたが、堂々の選手宣誓と各加盟団体の旗を掲げた様子は、例年通りの皆さんの気迫を感じられました。今年度のデモンストレーションは目黒区バトン協会の皆さんの演技でした。なかなか近くで見ることのできない演技にワクワクし、笑顔になり、感動いたしました。

結びになりますが、このような情勢の中、無事に開会式を終えることができたのも皆様の協力のおかげと感謝しております。有難うございました。



『体育祭開会式を終えて』

事業部長 小根澤 玲子

9月11日、中央体育館におきまして第61回体育祭開会式が行われました。

未曾有のコロナ禍のため昨年、一昨年と中止を余儀なくされ、未だ収束の見えない中ではあります。例年より規模を縮小し、三年ぶりに開催することができました。

開会宣言されると、目黒区ゲートボール協会の中曽根けい子さんの先導で、体育協会の理事が持つ大会旗が入場しました。各加盟団体の出席者も旗手一名のみに限定し少人数での開会式となり



『バトン アトラクション —「Our New World」』

それぞれのチームの子どもたちが全力で勝利を目指し、熱い戦いを繰り広げることが出来たこと、また熱中症や大きな怪我もなく大会を無事終了できたことは、ご参加頂いた全てのチームのコーチングスタッフの皆様及び保護



令和4年度

砧野球場・サッカー場 秋季事業

①『2022年度 少年サッカー近隣地区交流大会』

油面SC創立50周年記念

第38回上原杯油面招待大会について

油面サッカークラブ代表・監督 岩田 正之

今年度の少年サッカー近隣交流大会の事業として、7月30、31日の二日間に亘り、油面サッカークラブ主催の第38回上原杯油面招待大会を開催させて頂きました。ここ二年間はコロナ禍もあり、規模を縮小して開催してまいりましたが、今年度は従来通りの規模で、区内から5チーム、区外（近隣地区）から6チームを招待させて頂き、計12チームでの開催が実現できました。コロナの状況は多少落ち着いてはいたものの感染のリスクを考慮し、且つ熱中症のリスクも考えながらの開催となりました。

そうした中、それ

者の皆様のご協力があったからこそと、心からの感謝の気持ちで一杯です。微力ではありますが、この大会が未来ある子どもたちの成長に寄与出来るよう精進して参ります。

最後になりますが、事前準備を始め、当日熱中症対策等への多大なご配慮をして頂いた砧グラウンドスタッフの皆様、目黒体育協会の皆様に心より感謝申し上げます。

② 『親子でソフトボール大会に参加して』

不動パイレーツ保護者 三浦 優子

強い日差しの中でも吹く風は少し涼しい秋晴れの日、恒例のソフトボール大会が行われ、我が家も参加させて頂きました。くじ引きで4チームに分かれ、普段は対戦相手となる野球チームの親子同士で共に楽しく勝利を目指します。

その日は母親が中心となり、ピッチャーを交代で担当しました。これがなかなか難しい！出来ない恥ずかしさを隠しきれず一人笑っていました。一方でマウンドに立つピッチャーの孤独感を経験し、普段の試合で子どもたちが味わう緊張感に少しでも寄り添えたかな、と嬉しくなりました。



息子が引き当てたCグループは、嬉しいことに優勝！最後にお母さま方と笑いながら「とても楽しかった。このチームで戦えて本当に良かった」と自然に言葉が交わされました。

監督やチーム全員一丸で応援し、励ましあう声が何よりの力になり、心豊かな清々しい秋の思い出となりました。

③ 『目黒多摩川ウォーキング教室に参加して』

参加者 村田 靖子

「さあ出発！」まずはスタート地点の碑文谷体育館へ歩き出す。碑文谷体育館は娘のなぎなたの試合で行っていたため、道順は大丈夫。滑り出し順調。

駒沢公園はたまに訪れるが、オリンピックギヤラリーは初。ユニフォームやトーチ等々貴重な品々が展示、大変興味深い。

長谷川町子美術館の見学はコースに入っておらず、入り口の石像のみ見る。ここで波平さんと同じ年と知り、昔の人はいまよりもっとと大人だったと思う。

その後、玉川大師でぼけ封じの菩薩を拝み、岡本公園では子供とはしご車に乗ったこと、駒沢



『玉川大師の「ぼけ封じ観世音菩薩像」』

大学では体操教室に通わせたことが懐かしい。この辺りは住宅地と畑の混在した素敵な街。

多摩川土手に着くも、チラチラと駅の方を見つつ逆方向へ。途中、砧野球場・サッカー場の方に飲み物をご用意いただきホッと一息。

さあラストスパート、そして目的地にゴールイン。一番の若輩者の私でも足が棒の様だが、皆さんまだお元気な様子。皆でワイワイ、周りをキョロキョロと歩く楽しさ。

またお目にかかれることを期待し主催者に感謝。

④ 『グラウンド・ゴルフで人生百年！』

参加者 小薮 陽子

11月11日、雲一つない青空の中グラウンド・ゴルフを楽しめるなんて、と思わず両手を挙げて深呼吸……。グラウンド・ゴルフを始めて7ヶ月の初心者

ですが、諸先輩から丁寧で優しいご指導をいただき、毎回練習が楽しくて仕方がないです。

本日のグラウンド・ゴルフ教室では実技だけでなくマナーも教えていただき、大変勉強になりました。人生百年時代、元気であるうちはおもいきり楽しみたいです。



2 2 秋のイベント

約10年前、目黒区立中央体育館では障がいのある人も地域でスポーツを楽しむ環境を目指して、目黒体育協会・目黒区障害者団体懇話会、スペシャルオリンピックス日本・東京（以下SONと記す）等と協力

『「パラスポーツ」への一歩・

スポーツで拓く未来』

スペシャルオリンピックス日本・東京

地域展開委員長 上谷 富彦

『スポーツde障がい者交流会

—スポーツで拓く未来—

11月3日（木・祝）中央体育館

「スポーツ DAY」無料公開日

10月10日（月・祝）スポーツの日には、一般公開並びに各種イベントが無料公開されました。



上：『親子でYoga体験会』
左：『起震車体験』



して、「スポーツde障がい者交流会」をスタートしました。コロナ禍のためこの二年間は中止していましたが、昨年ようやく第6回目の交流会を実施することができました。

SONは目黒区内で目黒区バスケットボール連盟の協力を得て、競技のプログラムを継続的に執行しておりますが、SONでは全ての競技大会が開催される時、開会式で次のような宣誓をしています。「私たちに勝たせて下さい。たとえ勝てなくてもたかう勇気を与えて下さい。目的が勝利至上主義ではなく、日常練習の成果を発表する事なのです。」

2021年、東京パラリンピックの中で紹介された「We The 15」というキャンペーンのテーマによつて「世界人口の15%は何らかの障がいを持っている」ことが広く伝えられました。行政でも一気に「パラスポーツ」への対応が始まって来ましたが、

してこれまでの「障がい者スポーツ」から、障がいのない一般の人と一緒にスポーツをする「パラスポーツ」という言葉

が定着して来ましたが、この交流会を通じて、

社会が障がいを「知る・から「深く理解する」共生社会への第一歩になるように、皆さんと一緒に努力していきたいと思っています。



『バスケットボールで交流』

『「スポーツde障がい者交流会」に参加して』

元日本体育大学スポーツマネジメント学部教授

野村 一路

「スポーツde障がい者交流会」では、私をはじめ日本体育大学の卒業生四名は、参加者の皆さんと共に楽しい時間を過ごさせていただきました。

今年度も以前と同様に、午後の部のプログラムの進行と運営をお手伝いさせていただきます、

まずはウォーミングアップを兼ねて「ラベンダー体操」をして、心と体を温めました。もしご興味があれば、YouTubeで「ラベンダー体操」と検索していただければ、様々なバージョンが見られます。



『ボッチャ：白いボールに近づけよう！』

その後は、フライングディスクのアクチュアシー（※1）、ボッチャ、ストラックアウトの簡易バージョンのボール投げなど、参加者の好きなプログラムにチャレンジして、最後に全員で、ペガボール（※2）で大いに走って叫んで、楽しいひと時を過ごしていただけたと思います。障がいのあるなしに関わらず、友人と、家族と、交流会のスタッフも一緒にのびのびと身体を動かしてよい交流が出来たと感じました。また来年度も皆さんとお会いしたいですね。

※1 フライングディスクには、飛距離を競う「ディ

『障がい者のスポーツ交流』

アトリエほんちよう 職員

コロナ禍になり約三年。「スポーツde障がい者交流会」を開催ができたこと、並びに参加させていただけたことを、大変喜ばしく思います。

先日の交流会に参加した子どもたちは皆、終始笑顔でスポーツに打ち込んでいました。経験が浅く、ルールを知らないスポーツもボランティアの方達に教えていただきながら交流することで、自ら積極的にチャレンジをしていました。チャレンジをすることで、交流の輪の中に自然に入ることができ、スポーツが架け橋になっていることを体感することができました。

また障害の有無に係なく一緒にスポーツに打ち込めば、皆が一つになれると感じました。この皆様との貴重な交流の時間は、子どもたちのよい思い出になることと思います。

久々の開催に際して、

声を掛けてくださった目黒区立中央体育館の皆様、



『ストラックアウト：何番に当てよう？』

スタンス」と、正確さを競う「アキュラシー」の2種目があります
※2 マジック式のポンチヨを着た鬼にボールを当てる鬼ごっこ。多くボールがくついった方が勝ち

並びに「スポーツde障がい者交流会」で交流させて頂いた参加者の皆様に、この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございます。
ボランティアとしてご参加下さった方々から、以下のような感想をお寄せいただきました。

帝京平成大学 遠藤 しおり

この度は、ボランティアとして本イベントに参加させて頂いたことがとうございました。私自身、障がい者スポーツに触れること自体が初めてで、様々な配慮が必要だったり、ルールも少し複雑なところがあるのかと思っていましたが、そのような印象はこのイベントを通して大きく変化しました。また、こうした場が地域で開かれることで、障がいのある方、無い方が交流を持てる機会になり、地域コミュニティの発展にも繋がるのだと感じました。今後もパラスポーツ活動には注目し、機会があれば参加したいと思っています。

帝京平成大学 今井 泉紀

この度は、貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。スポーツを通して、障がいをお持ちの方ともそうでない方とも交流する楽しさや協力する大切さ、地域コミュニティの発展につながっていることを感じました。また、そのような機会があることでお互いの理解を



『フライングディスク：枠に入るかな？』

深める機会になっていると思いました。
今回の経験を活かしてこれからは地域のイベントなどに積極的に取り組み、地域の発展に貢献していきたいと思っています。

八雲学園高等学校3年 佐藤 佑里菜

障がい者の方々と接する機会があまりないので接し方が分からず不安でしたが、私の気にしすぎだったようで、一緒にスポーツを素直に楽しめました。それぞれできる範囲でみんなと協力したり、競い合ったりする姿を見て、私はスポーツが苦手ですが、スポーツを楽しむことの姿勢を学べたと思います。
また、私はボッチャの係を担当し、パラスポーツを初めて体験しました。知らないことの方が多く勉強になり、とても充実したボランティアでした。今後の大学生活でもボランティア活動をはじめとする様々な交流を大切にして、積極的に自己を磨いていきたいです。

八雲学園高等学校3年 府川 なの葉

言葉は知ってはいても、実際に体験したのは初めてのパラスポーツ。障がいの個性は様々で、その接し方は難しいと感じていたので、コミュニケーションが上手に取れるたびに嬉しさの方が大きくなりました。「やりたい！」「投げたい！」「楽しい！」とはつきりと言葉にして相手に伝えることを当たり前にできる、素直な優しい方ばかりでした。

日常で社会的な生きづらさを感じたりすることがあると聞きましたが、皆対等な関係で楽しんで高め合えるスポーツは、本当に魅力的だと思います。将来に活かせる経験になりました。

『生涯スポーツ大会(弓道)について』

選手 毛利 直克

今回コロナ禍において弓道の競技は、1チーム選手3名+監督1名の構成で、午前21チーム、午後22チームが参加し、午前・午後各々で順位を競う形式で開催されました。

過去二年間は大会も中止となり、弓道場も閉館・人数制限・時間制限等がありました。我が目黒チームは午前の部に参加、まずは予選通過をめざします。なんと予選では上位で通過。決勝は予選通過8チームのトーナメント戦です。その結果は…… 準優勝！チームメンバー皆がお互いに補いあつての満足する結果でした。

弓道は個人競技と思われがちですが、今回はチームとしての一体感を感じることのできた素敵な大会でした。来年も是非参加したいです。



※今年度の都民生涯スポーツ大会は17競技が開催され、目黒区からは12競技に参加しました。

●加盟団体紹介

目黒区合気道連盟

目黒区内で活動している五つの道場(大橋合気道クラブ、合気道自由が丘道場、緑が丘合気会、合気道目黒道場、目黒区中央体育館合気道教室)から構成されている団体です。中でも中央体育館合気道教室は、目黒区からの委託を受けて毎週日曜日の午前中に目黒区体育施設で開催している一般公開事業で、どなたでも参加できます。現在は、初心者から経験豊富な有段者まで、毎回20人程度が参加しており、初心者は個別に丁寧な指導しています。

春と秋に初心者教室を開催しており、その参加者の中から、その後も稽古を続けて有段者になった人達もいます。

初夏には講習会、秋には演武会を開催しており、毎年5月に開催されている公益財団法人合気会主催の全日本合気道演武大会にも出場しています。

合気道は試合を行わず、他人と優劣を競わない武道です。興味のある方は、左記連盟のホームページをご覧ください。 <http://meguroaikido.zashiki.com/>



中央体育館

「新春スポーツフェスタ」2023

1月15日、新春恒例『スポーツフェスタ』が開催され、当日のイベント・一般公開が無料公開されました。



上：『新体操体験会』
下右：『出張相談—シニアのための健康相談—』
下左：『チアヨガ体験会』



今季左記の方々から賛助会費のご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。今後とも変わらぬご支援、ご協力の程お願い申し上げます。

★賛助会員ご芳名

(1月末現在)

【団体】 剣道連盟 クレー射撃連盟

【個人】 松坂 孝司 塚越 美智子 長澤 良治

上村 美智子 (以上剣道連盟)

谷川 宏治 (以上クレー射撃連盟)

敬称略 受付順